

三愛病院 医療法人社団 松弘会 トワーム小江戸病院

三愛病院で行う半日ドック、心臓ドック、乳がん検診ドック

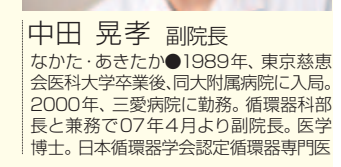
三愛病院では半日人間ドック、心臓ドック（心筋梗塞予防ドック）、乳がん検診ドックに加えて、4月の外来棟完成とともに脳ドックを本格的にスタートさせます。トワーム小江戸病院では、すでに脳ドックで実績を上げています。

宮園 三愛病院の人間ドックは、メタボリックシンドロームと5大がん（胃がん・肺がん・大腸がん・肝臓がん・乳がん）の早期発見を主な目的としたものです。人間ドック全体（検診も含め）で2012年1〜12月は5000件ほどの検査を行いました。

中田 心臓ドックの場合は、心電図やX線検査、心臓超音波検査、負荷心電図などが基本です。また、頸動脈超音波やABI（足関節・上腕血圧比）検査を行っています。



三陽 輝久 理事長
わたよう・てるひさ●1975年、東邦大学医学部卒業。85年、三愛病院設立。97年、医療法人社団松弘会理事長。1993年、埼玉県で先駆けて腹腔鏡下手術を実施。2005年2月に当日立位、歩行可能な人工骨置換術を学会で発表している



中田 晃孝 副院長
なかた・あきたか●1989年、東京慈恵会医科大学卒業後、同大附属病院に入院。2000年、三愛病院に勤務。循環器科部長と兼務で07年4月より副院長。医学博士。日本循環器学会認定循環器専門医

頸部や手足に動脈硬化があれば、心臓や脳の血管に問題がある場合が少なくないからです。さらに当院では、冠動脈CTまたはMRA（磁気共鳴血管造影）を行っています。

宮園 乳がん検診ドックでは、視触診、超音波、マンモグラフィの3つを主に組み合わせて行っています。マンモグラフィ検査は、微細な石灰化をとまなう乳がん検査を得意としています。が、乳腺量の多い20〜30歳代では被曝線量の増加が懸念されるため、超音波とMRI（核磁気共鳴画像法）を併用して診断をしています。

三陽 がんの進行にはある程度の期間を要しますが、心臓や脳の疾患は起きてしまったら待たないで早急な処置が必要です。そうした実情でありながら、なかなか人々から関心が示されていません。このため、公民館や地域包括センターなどで講演会を行っています。講演を聴かれて、実際に人間ドックを受けに来られた方も少なくありません。

MRIを有効に活用し 検査実績を上げる

三陽 三愛病院では2011年夏に新型のMRI1.5テスラを導入しました。

中田 新型MRIでは造影剤を使わず、冠動脈を撮像することが可能です。しかも心拍数が高い方や心臓機能が悪い方でも、精度の高い画像が得られます。この検査ができる医療機関は少ないのが現状で、2012年1〜12月の冠動脈MRAは約700件でした。

宮園 乳がん検診におけるマンモグラフィや超音波は、乳房に何かがあるという存在診断に適していますが、その腫瘍が良性か悪性かという質的診断に威力を発揮するのがMRIであるといます。



宮園 光 医師
みやその・ひかり●1967年、鹿児島大学医学部卒業。虎の門病院外科、南多摩病院外科、銀座病院院長、井上病院副院長、東和病院副院長などを経て、2006年、三愛病院に勤務。乳がん検診担当として、マンモグラフィ読影診断、乳腺エコー細胞診診断を行う。医学博士



辻 直基 技師
つじ・なおき●1988年、金沢大学医療技術短期大学部診療放射線技術学科卒業。同年、三愛病院に勤務。放射線科主任を経て、地域医療連携室室長

田中 動脈瘤が見つかった場合、変に驚かすのではなく、わかっていることと、わかっていることを区別してきちんとお話しするようにしています。

松居 脳ドックを受けて脳動脈瘤が見つければそれでいいというものではありません。ガイドラインでは手術の選択基準を5mmと規定していますが、5mm以上になっても破れない人もいれば、2〜3mmでも破れる人がいます。

金子 20代、30代は女性のほうが多いのですが、40代〜60代は男性のほうが多いです。母の日、父の日のプレゼントで両親を連れて検査を受けにこられた方もいらつしやいます。

熟練の医師や技師がMRI3.0テスラなどの先端機器を駆使 脳や心臓、乳がんドックにおける高精度の診断を実現する



田中 裕一 医師
自治医科大学附属さいたま医療センター脳神経外科教授
たなか・ゆういち●1980年、自治医科大学卒業。医学博士。トワーム小江戸病院スーパーアドバイザー。日本脳神経外科学会評議員、日本脳神経外科学会認定脳神経外科専門医、日本救急医学会認定救急科専門医



松居 徹 医師
埼玉医科大学総合医療センター脳神経外科教授
まつい・とおる●1979年、東京大学医学部卒業。医学博士。トワーム小江戸病院スーパーアドバイザー。日本意識障害学会理事。日本脳神経外科学会認定脳神経外科専門医



島 克司 医師
防衛医科大学校名誉教授
しま・かつじ●1972年、信州大学医学部卒業。医学博士。トワーム小江戸病院スーパーアドバイザー。日本脳神経外科学会認定脳神経外科専門医

たとえ1%の確率でも、明日破れる場合があれば、一生破れない場合もあります。

島 脳動脈瘤はオール・オア・ワンで、それが何によって決まるのかはわかっておりません。

松居 動脈瘤の大きさがある程度あったり、短期間で変化があったり、血流の遅いところがあったりする場合、破れやすいことも確かです。

田中 前交通動脈瘤については、5mm以下でも破裂する可能性が他の部位より高いことが指摘されています。

5人の医師と2人の技師がよりの確な診断を目指す

三陽 トワーム小江戸病院では2010年12月に導入したMRI3.0テスラが脳ドックに貢献しています。

島 MRI3.0テスラは先端機器で画像が鮮明なため、的確な診断に役立っています。低レベルの機器だと不鮮明な画像が多いため、正確な診断が出るまで患者さんに数カ月待つというリスクがあります。

田中 だいたい100人くらい診ると、脳動脈瘤の方が2〜3人見つかるといわれていますが、トワーム小江戸病院の脳ドックでは、これまで46件に脳動脈瘤が見つかりました。

松居 MRIの場合、精度がよくなればなるほど、逆に診断が難しくなったりします。動脈瘤なのか、画像処理上の単なる血管の膨らみなのかかわからない場合があります。そうした中で的確な診断を行えるのは、読影した症例数を積み重ねた経験ある医師のみといついでいいでしょう。

金子 MRI3.0テスラは、微細な血管もはっきり映し出します。以前の装置と同じ画質でよければ、脳ドックは15分程度で終わりますが、MRI3.0テスラでは鮮明な画像を撮像するため、30分程度の時間をかけて撮像しています。

三陽 脳ドックでは、脳神経外科の5人の医師と2人の技師が読影に携わり、高精度の診断が

可能になっています。多人数の医師が診るといことは、それだけでセカンドオピニオンにつながるといういいでしょう。

松居 1人で診ていると、人間ですから何百例に一例は間違いを犯すかもしれません。そうした見落としがあった場合のリスクマネジメントになります。検査では、5人の医師が診ることにより、さまざまな意見と知恵を出し合うことができます。

金子 当院では技師1人とクラーク1人を増員し、脳ドックを強化、拡充する体制が整っています。

辻 放射線技師の一人として、これからも病気の啓蒙活動を続けていきます。老人クラブなどは健康に関して興味のある方が多いですし、今年から企業の方たちへの講演を始めています。参加される皆さんには、かかりつけ医を持っていただくようおすすめています。昨年42回の講演を行い、1500人以上の方が参加されています。

三陽 三愛病院では、外来棟の完成にともない、6月にはMRI3.0テスラと320列マルチスライスCTを導入する予定です。そうした「先端機器」と「熟練の医師や技師」の両輪で検査に臨み、病気の早期発見と早期治療を徹底し、地域医療に貢献したいと考えています。

三愛病院
〒338-0837 埼玉県さいたま市桜区田島4-35-17
TEL.048-866-1717(代) http://www.sanai.or.jp
☎0120-866-175
診療科目●外科、整形外科、脳神経外科、内科、循環器内科、消化器内科、消化器外科、リハビリテーション科、放射線科、形成外科、泌尿器科、麻酔科（長野治和）、呼吸器外科、歯科、リウマチ科、心臓血管外科、皮膚科
診療時間●平日9:00〜17:00 土9:00〜12:00
休診日●日祝

トワーム小江戸病院
〒350-0848 埼玉県川越市下老袋490-9
TEL.049-222-8111(代) FAX.049-222-8128
診療科目●精神科、内科、整形外科、外科、脳神経外科、リハビリテーション科
病床数●200床 http://www.towarm.co/cedo
入院、外来予約・ご相談は
TEL.049-222-8123 (インフォメーションセンター)



金子 樹里 技師
かねこ・きさと●2003年、中央医療技術専門学校卒業後、三愛病院勤務。10年、トワーム小江戸病院勤務放射線科MRI室担当技師

人間ドックは自由診療です。三愛病院/半日人間ドック 40,000円、脳ドック 57,750円、心臓ドック 57,750円、乳がん検診ドック 9,975円
トワーム小江戸病院/脳MRI+脳MRA+頸部MRA39,000円